

この話、水に流さないで！ 川や海にやさしい暮らしを始めませんか。

なにげなく流しているものが、大切な川や海をこんなに汚しています！

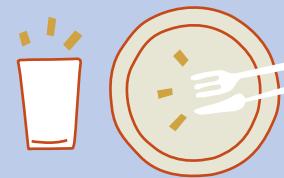
これを流すと	水がこれだけ汚れる	魚がすめる水質 (BODが5mg/l以下)にするには
?	BOD(g)	バスタブ (300ℓ) 何杯分？
天ぷら油 使用済み (20ml)	30	20
マヨネーズ※ 大さじ1杯 (15ml)	20	13
牛乳 コップ1杯 (200ml)	16	11
ビール コップ1杯 (180ml)	15	10
みそ汁 (じゃがいも) お椀1杯 (180ml)	7	4.7
米のとぎ汁 (1回目) (500ml)	6	4
煮物汁 (肉じゃが) 鉢 (100ml)	5	3.3
中濃ソース 大さじ1杯 (15ml)	2	1.3
シャンプー 1回分 (4.5ml)	1	0.67
台所用洗剤 1回分 (4.5ml)	1	0.67

出展：生活雑排水対策推進指導指針
※は、東京都環境局自然環境部水環境課HPより
http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/kaizen/kisei/mizu/seikatuhaisui/seihai_panf/torimodosou.htm

今日から実行できる！暮らしの中の対策メニュー。

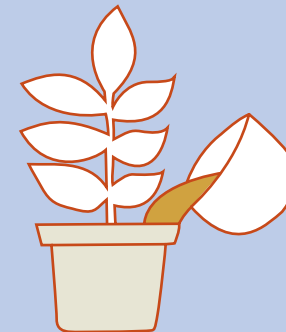
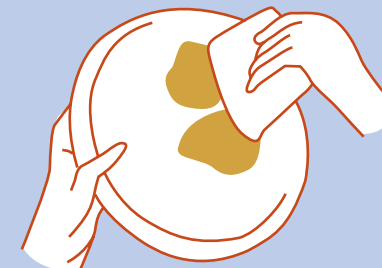
生活排水を出しているのは、私たち。
ということは、川や海の水を汚さない
一番の方法は、私たち自身が“汚れた
水をそのまま流さない生活”をすること
なのです。みんなで実行すれば、ち
ょっとしたことを見つけるだけで、
大きな効果が期待できます。

台所ではこんなこと



食事や飲み物は必要な分だけつくり、飲み物は飲みきれる分だけ注ぐ。

食器を洗う前に、油汚れなどはふき取ります。

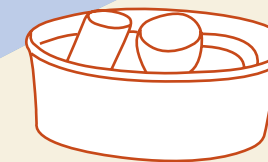


米のとぎ汁は植木の水やりに。養分を含んでいるので、よい肥料になります。



水きり袋と三角コーナーを利用して、野菜の切りくずなどの細かいごみをキャッチ。

残った油は継ぎ足して使ったり、炒めものに使うなど、できるだけ捨てない努力を。やむをえず捨てる際は新聞紙などに吸わせてから。



食器を洗うときは洗い桶を使用し、洗剤は適量の水で薄めて使います。

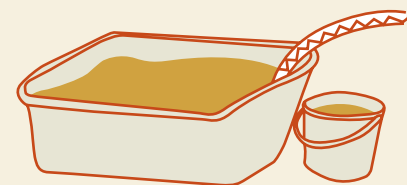
お風呂ではこんなこと



髪の毛などは排水口に目の細かいネットを張ってキャッチ。



シャンプー・リンスは適量を守りましょう。



お風呂の残り湯は洗濯に。温水なので汚れ落ちがよくなります(衛生上、すすぎは水道水で)。

洗濯ではこんなこと



洗剤は計量スプーンでしっかり計って。多く入れても汚れ落ちがよくなるわけはありません。



くず取りネットを取り付けて、細かいごみをキャッチ。

トイレではこんなこと



トイレは使用後にちょこちょこっと掃除しましょう。そうすれば、洗剤を使ってゴシゴシ掃除する回数はグーンと少なくてすみます。